

チャレンジコミュニティ Challenge Community Club 通信



第46号

2021.8 vol.46



入学式武井雅昭区長挨拶



CC大学第14期生入学式会場



旧芝離宮の百日紅



CCクラブホームカミングデイ講演会村田玲音学長



講演会会場

CONTENTS ■ごあいさつ

港区長

武井 雅昭

明治学院大学学長

村田 玲音

CCクラブ代表

石川 啓子

■2021年度CCクラブ新体制の紹介

■2021年度第6回CCクラブ総会(書面議決報告会)・ ホームカミングデイ(講演会)

■運営委員会報告

チャレンジコミュニティ・クラブの 皆さんへ

■港区長 武井 雅昭

チャレンジコミュニティ・クラブの会員の皆さんには、日頃から、地域活動の担い手としてご活躍いただきますとともに、港区政の運営に対しましても、格別のご理解とご協力をいただいております。

各地区に分かれての自主活動のほか、区民参画による検討組織、各総合支所での地域活性化のための区との協働事業、ボランティア等の福祉活動など、多方面においてご活躍いただき、大変心強く思っています。皆さんの活動に心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との戦いは、今もなお続いており、区民の健康はもとより、経済、子育て、教育、福祉、地域コミュニティなど、生活の多方面に深刻な影響を及ぼしています。区では現在、全庁をあげてワクチン接種に取り組むとともに、区民生活の隅々にまで行き届いた、港区ならではの施策を積極的に進めています。デジタル化が進む社会に対応するため、区が新たに設置した、区民のワクチン接種予約から日常におけるSNS等の操作までを支援する「デジタル活用支援員」には、チャレンジコミュニティ・クラブの皆さんにもご協力いただいております、大変感謝しております。

コロナ後と言われる社会がどのように変容していくのか、かつてない先行きが不透明な状況の中、明るい未来への道筋を示すため、区では、本年3月、令和3年度からの6年間を計画期間とする「港区基本計画」を策定しました。困難を乗り越え、区民の健康と安全を守ることを最優先に、まちの元気と活力を取り戻すため、支え合える地域の力を今こそ結集し、様々な取組を推進してまいります。そして、区民とともに描いた未来、「誰もが住みやすく、地域に愛着と誇りを持てるまち・港区」を創ってまいります。

チャレンジコミュニティ・クラブの皆さんにおかれましても、これまで培ってこられた知識や、ご経験を存分に生かし、引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、チャレンジコミュニティ・クラブの今後の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご隆盛を心からご祈念申し上げます。



ポストコロナ時代に向けて

■明治学院大学学長 村田 玲音

現在、私たちが直面しているコロナ禍は歴史的に見ても極めて稀な現象です。100年に一度もない災害でしょう。でも、この時代に生まれ合わせてしまった私たちにとっては、稀な現象であるかどうかは関係がありません。今の時期をどうやって切り抜けるかが最大の関心事になります。

昨年春からの大学の動きを見ると、昨年の春学期は「コロナの不意打ちを受けて、慌てふためいた時期」でした。大学は閉鎖され、授業は全部オンラインになり、チャレンジコミュニティ大学もほとんど活動できませんでした。その後もコロナの勢いは止まらなかったものの、秋学期になると私たちの側に多少の心構えができ、「コロナの間を衝いて、やりたいことを始めてみる」余裕が出てきました。授業はまだ半分以上がオンラインでしたが、対面授業やサークル活動を一部再開しました。

2021年度に入って、私たちはようやく態勢を整えてコロナを抑えこもうと始めています。春には入学式をキャンパスで行い、大勢の学生でキャンパスが溢れました。チャレンジコミュニティ大学でも、新入生を新たに迎え、授業も始まっています。

幼稚園から大学まで、教育機関やそのキャンパスがいつも明るい雰囲気を持っているのは、《学び》という将来に目を向けたことを行っている場だからです。早くキャンパスに本当の明るさを取り戻したいものです。これからは紆余曲折はあるかもしれませんが、本当にコロナのことを忘れて生活できるのは、もう少し先になるでしょう。それでも明治学院大学は人と人が直接対面する活動を積極的に進めていきたいと思っています。

チャレンジコミュニティ・クラブの今後の御発展を祈っております。



どんな世の中でも

輝く自分を創りましょう

■CCクラブ代表 石川 啓子 (8期)

令和3年2月、新型コロナウイルス感染予防緊急事態宣言が2回も延長された中で「2020年度の活動報告会」を行いました。誰一人プロのいない素人集団が、リモートという手立てを学び合った技で発信。リモートの受け手もこの一年で学び合った仲間、80名余が受信。互いに元気を分かち合った素晴らしいひと時でした。



4月に第3回目の緊急事態宣言が出され、それが延長された6月に、総会（書面議決報告会）ホームカミングデイ（講演会）を開催しました。ワクチン接種が始まった段階で、会員の安全を配慮した選択でした。

書面議決では、返信を頂いた全ての方から全ての議案に賛成を頂きました。これは、コロナ禍での一年間の運営を評価・信頼して頂けたと身の引き締まる思いでした。

今年もまだまだ今までのような生活は、戻らないかもしれません。その中で私たちは、会議のあり方や活動の方法を現状に即し、新しいものの良さを取り入れながら模索・試行していきます。地域・行政・大学と連携し、他団体との交流を活かしたりして、昨年度までの良さを生かし、進めていきます。新規プロジェクトとして歩み始めた「学ぶ会」や港区協働事業にも積極的に参加します。

課題である運営委員の選出についても、皆さんと英知を出し合って相談していきます。今までのCCクラブの良さを残し、新たな歩みを皆さんと創っていきましょう。ホームページや一斉通信をご覧ください。情報を自分から取りに行く、共有する。そして新しいプロジェクトにもぜひ、ご参加ください。各地域CCクラブの活動、個人の活動がCCクラブを支えています。CC大学の学びを自分の生活に活かし、CCクラブの活動を通して一人ひとりが輝く自分を創っていきましょう。

チャレンジコミュニティ通信は、 地域活動推進の情報を提供します

港区は、2007年4月に地域活動のリーダーを養成することを目的として、明治学院大学との連携により、チャレンジコミュニティ大学を開設しました。この大学は港区在住の60歳を超えた方を対象に各々がこれまで培ってきた知識・経験を地域に生かし、生きがいのある豊かな人生を創造し、また学習を通じて個々の能力を再開発することを目指して創設されました。

2008年3月、第1期生の修了を機に自主的な運営組織として、チャレンジコミュニティ・クラブ（略称CCクラブ）が創設されました。この大学で学んだ知識を活用し、地域課題の解決に向け、会員が地域活動を推進することを目的としています。このクラブは地域活動のリーダーを育て、港区のまちづくりや地域ネットワークの構築を進め、併せて各人の資質の向上をはかっていきます。

この目的に沿って、CCクラブ会員が自主的に地域活動をしています。CCクラブ会員を対象に地域活動推進の情報提供や活動状況を紹介するため、チャレンジコミュニティ通信を発行しています。

年間を通しての全体活動として、コロナ禍で中断しているものもありますが、主な活動は以下のようになります。

- ・総会、ホームカミングデイ
- ・明治学院大学との協働事業
- ・みなと区民まつりへの参加
- ・港区社会福祉協議会地域福祉フォーラムの運営協力
- ・活動報告会

また、地域での活動としては

- ・芝CCクラブ（芝地区）
- ・明虹会（芝浦・港南・台場地区）
- ・高輪地区CCクラブ（高輪地区）
- ・3Aクラブ（麻布・赤坂・青山地区）

など多くの活動機会ができています。

様々な機会を通してご自分でできることを探してアタックしてみてください。

また会員相互の情報としては各団体等での会員の活躍状況や、クラブ企画の講演会・講習会、施設見学会の開催案内等を適宜紹介していきます。

2021年度 CCクラブ新体制の紹介

副代表

太田 則義 (7期)

2020年度は会員の皆さまの活動同様に運営部門の活動も新型コロナ感染防止のために例年とは様変わり的一年になりました。

その中でも役員会では各部会長が一体となって様々な活動に取り組めたと感じています。

対面式で活動ができない状況で、新しいコミュニケーションツールとしてリモートを利用すべくZoomを役員間で勉強し大きな力とすることができました。運営委員の皆さまにも講習会に参加してZoomに慣れていただき、9月からは会場とリモートを併用した運営委員会を開催できました。

運営委員会では、10～11月に皆さんで議論をし、2021年度の運営課題に反映することができました。2021年度も運営委員会の議論は継続します。

2021年度もまだまだ感染症防止のために私たちの活動は制約されていますが、新しいテーマを設定しスタートしました。今年度はCCクラブ会員と同時にCC大学14期生が現役の時から行事に参加していただくことも考慮し活動していきます。

皆さまのご協力をお願いいたします。



企画部会

平田 渥美 (12期)

企画部会はCCクラブの会員がお互いの絆を深め、情報を交換し、会員一人ひとりの毎日の生活や活動をさらに充実させ、港区や福祉団体、地域イベントとの協働活動に積極的に参加できる環境を整えることを目的にしています。

2020年度は新型コロナで新しい生活様式を余儀なくされる中、新しいコミュニケーション形成のための研修会、講演会や意見交換会、またCCクラブと同じような他団体との交流を実施するなどオンラインを活用して推進してまいりました。

2021年度もオンラインを併用しながら講演会や

研修会、他団体との交流、CCクラブ会員間の交流など、より深く進めていきたいと考えています。

またコロナ禍が収束した後もコミュニケーションの重要なツールになると考えられるオンライン利用の普及活動を進めたいと考えています。

皆様のご参加、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



ホームページ部会 福岡 哲郎 (10期)

部会長の仕事も2年目を迎えました。昨年は、コロナ禍で部会員との会合も儘ならずWEB主体の会合となる中で、長年の懸案であったHPの運用基準の改定が完了しました。今年度は会員の増員を最優先に活動を進めて行きたいと考えています。また、SNSの身近な活用例についても勉強を進めて行こうと思っていますので、関心のある皆様のご連絡をお待ちしております。

連絡先は、下記メールアドレスへ
Email:fukuoka.te@dream.ocn.ne.jp



地域連携部会

太田 則義 (7期)

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大のために思うような活動ができませんでした。その中で

も、地域の活動を皆さまにお知らせする「クローズアップCC」を6テーマで配布し、運営部門、地域CCクラブ、港区と明治学院大学が集まる地区CC会議も3回開催することができました。

2021年度は継続した部会員5名に加え、新規会員が徐々に増加し6月の段階で5名になり10名で活動しています。

本来の地域連携部会テーマである地域の活動を如何に支援していくことが、現在のコロナ禍でどの程度できるか心配はありますが、できる限り関わりたいと考えています。前年の活動に加えてCC大学14期生が現役時代からボランティア活動に参加できることや、会員とボランティア団体がボランティア情報を共有できる仕組みを作りたいと計画しています。

部会員一同、頑張っ活動していきます。



会報部会 瀬能 正実 (10期)

今年の部会も一昨年と同じ9人のメンバーで活動を始めました。

CCクラブ通信の発刊が主な業務であり、年間2から3回の発刊を目指しています。内容は港区・明治学院大学関係者の挨拶紹介、CCクラブの活動報告が主たる業務ですが、会員皆様の活動



内容紹介をとりあげたり、データ作成をマスターすればどなたでも冊子が作れる時代となっております。

会報部会も今までは専門知識のある先輩方々に頼って発刊しておりましたが、本年9月から部会員の手で入稿データをつくることを目指しております。冊子作製にご興味ある方は是非会報部会にご参加ください。

総務部会 岩佐 徳太郎 (9期)

《人と人とのつながりが大事》

昨年来、新型コロナウイルス感染拡大により繰り返される緊急事態宣言や自粛要請によって、私たちの社会生活は大きく制限され、その対応が求められています。

しかしながら私たちの年代は、これまで幾度となく大きな打撃を受けても、それを跳ね返してきました。焦燥感、不安感など関係ありません。私たちの年代はバイタリティーがあります。今、私たちに求められているのは、地域の人と人とのつながりを大切にして、楽しく社会生活を営むことだと思います。

CCクラブには、地域貢献をしている人が大勢います。地域の社会活動を通じて、仲間を増やし元気に活動しています。CCクラブは、その方たちを支援し、連携して地域の社会貢献に繋げていきます。

総務部会では、地域活動が制限されるなか、会員の皆様と連携してインターネットを使ったりリモート方式で、CCクラブの円滑な運営と活動推進を図っています。

会員の皆様をお願いします。ぜひ、総務部会に参加して頂き、私たちと一緒に活動して、CCクラブの円滑な運営と活動推進に寄与してください。



2021年第6回CCクラブ総会（書面議決報告会）・ホームカミングデイ

2021年の総会とホームカミングデイについて、当初は対面式を予定しましたが、新型コロナウイルス感染状況が好転せず、5月の運営委員会にて総会議案については書面表決としました。そして総会を書面議決報告会としてホームカミングデイ講演会と合わせてリモートと会場で行うことになりました。2021年6月19日（土）明治学院大学3201教室とリモートで会場に会員38名と来賓4名の方とリモートには45名の会員が参加しました。

2021年第6回CCクラブ総会 （書面議決報告会）

6月初旬に事務局から会員681名に対して案内と議案書を郵送しました。

書面表決の締切日は6月15日（火）とし、メール、はがき、ファックスで回答をいただきました。

6月19日（土）は梅雨の始まりとなりましたが運営委員、部会員がスタッフとして参加し、会場準備をしましたが、感染症対策として手指消毒、検温後に受付をし、会場の座席は間隔を空けた大学の指示に従い着席をしました。

13時30分に司会を太田則義副代表（7期）が務め、最初にCCクラブ石川啓子代表（8期）が挨拶をし、書面議決報告会に至る経緯と港区、明治学院大学、港区社会福祉協議会をはじめとした関係部署への謝辞を述べました。



来賓として、港区高輪地区総合支所協働推進課鳥居誠之課長、明治学院大学総合企画室社会連携課山田真嗣課長、CC大学統括コーディネーター岡本多喜子明治学院大学名誉教授、CCクラブ顧問河合克義明治学院大学名誉教授より挨拶をいただきました。



写真：左上、鳥居誠之高輪協働推進課長、右上、山田真嗣明治学院大学社会連携課長、左下、岡本多喜子先生、右下、河合克義先生

議題説明に入り、石川代表が第1号議案（2020年度活動実績、会計報告）、第2号議案（2021年度活動計画案）、第3号議案（役員選任の件）をパワーポイントを使い約25分間、説明をしました。続いて岩佐徳太郎総務部会長（9期）が書面議決の報告をしました。書面議決結果は次の通りです。総会開催案内発送総数681通、回答数255通（はがき・ファックス合計181通、メール74通）賛成254通、反対0通、無効1通（無記名）。

会場、リモートともに質問はなく、最後に役員全員が自己紹介をして、総会は終了しました。

ホームカミングデイ 講演会

円周率って何だろう？

講師 明治学院大学 学長
村田 玲 音



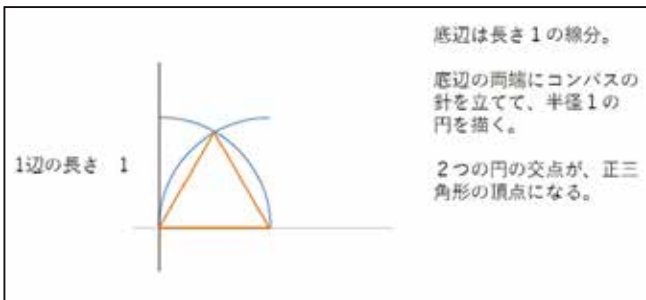
司会は平田渥美企画部会長（12期）で、「今日は『円周率って何だろう？』というテーマでお話をさせていただきます。久しぶりに聞く円周率という言葉、何年ぶりになりますか、わくわくしています。皆さんと楽しくお聞きしたいと思います」の言葉で始まりました。

以下にその一部をご紹介します。詳しくはCCクラブのホームページをご覧ください。

「事務の方を通して、ホームカミングデイで数学の話をしてくださいということでお引き受けしました。その後、ちょっと間違っていました、元気の出る数学の話をお願いしますと聞き、元気の出る話ならできるだろうし、数学の話もできるだろうが、『元気の出る数学の話』はできるだろうかと首をひねることになりました。

かなり数学的な内容を盛り込んだお話をしますが、終わった後で、『今日の私の話で元気が出ま

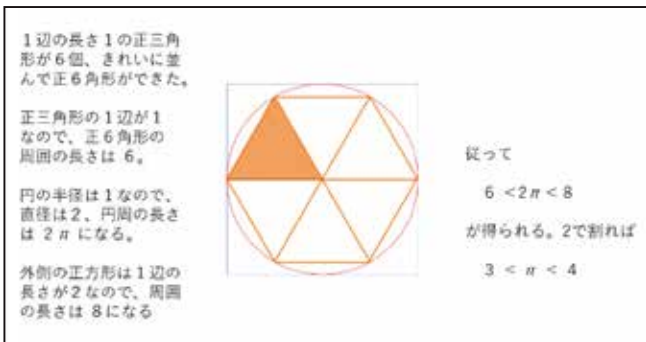
したか?』とお聞きしたいと思っています。今日の目的ですが、定規とコンパスを使った作図問題を円周率という視点から見ていきます。



与えられた長さ1の線分の上に正三角形を作ります。この三角形のななめの辺のところにまた正三角形を作り、正三角形を時計回りに継ぎ足していくと正六角形ができます。この正六角形の1辺は1ですから、できた正六角形の周囲の長さは6になります。一方この六角形を囲むように円を描くと、正六角形に外接する円になります。外側の円の直径は2ですから、円周の長さは 2π になります。これは六角形の周囲より外側に膨らんでいるわけですから長くなります。その外側に1辺が2の正方形を書きます。この図だけから、正六角形の周囲の長さ6より円周の 2π の方が長く、四角形の周囲の長さ8の方が 2π より大きいことがわかります。これを式で書いてみると、

$$6 < 2\pi < 8 \quad \text{となります。}$$

$$\text{これを2で割ると、} \quad 3 < \pi < 4 \quad \text{が得られます。}$$



円のことを調べるために、円を正六角形と正方形で挟んだのです。これを参考にしてアルキメデス（イタリア、シチリア島シラクサ生まれで、紀元前287年～紀元前212年）は、円を内側と外側から正六角形で挟み、正12角形で挟み、と辺の数を大きくして行って、だんだん円に近づけていく方法を工夫しました。

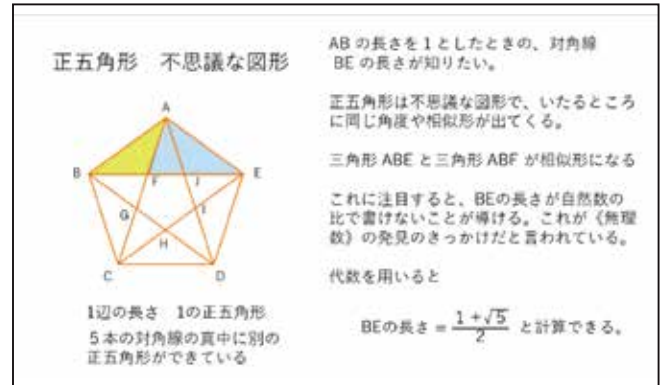
アルキメデスの得た値を小数にすると、 $3.1408 < \pi < 3.1429$ となります。彼の計算のおかげで、 π は3.14までは正しいことが確定します」

この後、円周率の素晴らしい近似分数の話、有

理数と無理数へと話が続きますが、続きはホームページをご覧ください。

「古代ギリシャの数学者たちは、数の範囲を広げる意欲に燃えて、作図問題に取り組みました。その一つの目標になったのが《正多角形の作図問題》でした。

今では、正 n 角形が定規とコンパスだけで作図できる必要十分条件もわかっています。その中でも正五角形は不思議な図形といえます」



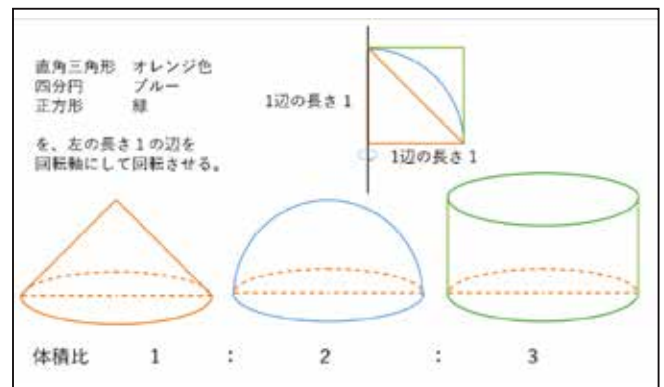
最後に、アルキメデスが最も誇りにしたとされる自分の業績は、

「底辺1、高さ1の直角三角形を、軸を中心に回転すると底面：半径1の円、高さ1の円錐ができます。

半径1の円を四分円に切ったものを、軸を中心に回転すると底面：半径1の半円球ができます。

底辺1、高さ1の正方形を、軸を中心に回転すると底面：半径1の円、高さ1の円柱ができます。

三つの美しい図形を回転させると、回転体の体積比が1：2：3になります。



円周率を小数点以下10桁まで知っているということは、地球の軌道をメートル単位で求められることを意味しています。しかし、実用上は、3.14で十分。3.1416まで知っていれば困ることはありません」

最後に、太田副代表の答え「元気の出る数学の話というより私は、講演が新しい活力になったと感じます」は多くの方の声といえるでしょう。

運営委員会報告

2021年度の運営委員、部会員、地域CCクラブ委員は以下の通りです。

2021年度 CCクラブ運営委員会・部会メンバー

(2021年6月30日現在)

代表		石川 啓子⑧		副代表		太田 則義⑦	
運営委員会	運営委員		運営委員		運営委員		運営委員
1 期	② 梶木 美智子 ③ 古橋 義弘	7 期	② 太田 則義	11 期	① 阿久津 寿 ② 鈴木 興雄 ③ 朝比奈 敬子	12 期	① 本藤 英敏 ② 林 和典 ③ 中嶋 博
2 期	② 野口 美津子	8 期	③ 松木 勇		① 金城 恒夫 ② 廣田 紳一 ③ 東 公子		
3 期	② 雨宮 武	9 期	② 岩佐 徳太郎	13 期	① 金城 恒夫 ② 廣田 紳一 ③ 東 公子		
4 期	② 石井 富美子						
5 期	① 呉 東富 ① 大竹 裕	10 期	① 今泉 昌代 ② 瀬能 正実 ③ 丸山 幸秀				
6 期	① 村上 英一郎						

部 会	部 会 長 副 部 会 長	部 会 員			
企画部会	平田 渥美⑫	野口 美津子②	西田 宏子⑨	中嶋 博⑫	小川 寧子⑬
	阿部 令子⑩(副)	丸山 保夫⑦	梅沢 隆⑪	設楽 康二⑬	清水 和美⑬
	藤井 宝⑬(副)	野村 知義⑧	橋本 順子⑪	内田 眞也⑬	
HP部会	福岡 哲郎⑩	石賀 幹春⑨			
	斎藤 正精⑥(副)	岡部 正実⑩			
地域連携部会	太田 則義⑦	西森 章江④	大塚 堅一⑪	金城 恒夫⑬	
		呉 東富⑤	金原 智子⑩	平山 耀子⑬	
		大沼 礼子⑩	廣瀬 信一⑬	丸毛 昭生⑬	
会報部会	瀬能 正実⑩	古橋 義弘①	佐藤 芳男⑪		
	境 静子⑩(副)	榎本 和夫⑦	鈴木 興雄⑪		
	中満 美紀⑪(副)	太田 則義⑦	岩出 好枝⑫		
総務部会	岩佐 徳太郎⑨	石川 啓子⑧	河野 洋子⑫		
	秋元 宏⑧(副)	丸山 幸秀⑩			

・部会長・副部会長の(副)は副部会長

地 域 C C ク ラ ブ (運 営 委 員)			
芝CCクラブ	大塚 堅一⑪	明虹会(港南・芝浦・台場地域)	恩地 亨輔⑩
高輪地区CCクラブ	小峰 由紀⑩	3Aクラブ(赤坂・青山・麻布地域)	及川 廣子⑥

運営委員会の●数字はグループ、それ以外の欄の○数字は期です

地域CCクラブ代表

地 域 C C ク ラ ブ (代 表)			
芝CCクラブ	新井 隆治③	明虹会(港南・芝浦・台場地域)	斎藤 正精⑥
高輪地区CCクラブ	太田 則義⑦	3Aクラブ(赤坂・青山・麻布地域)	及川 廣子⑥

編集後記

CCクラブ会員の方々には、日本でのオリンピック・パラリンピックを2回経験することとなりました。

今回のオリンピック・パラリンピックへの道のりはコロナ禍で環境も異なり「安心・安全」をどう守るかが課題の大会です。

私達シルバー世代も、環境の変化に振り回され、改めて「生きていく力」とは何かを考えさせられた2年間です。

CCクラブのつながり方も、この機に多面的に見つめ直していく必要性を感じた今回の号でした。

(11期 中満 美紀)

(表紙の花の写真は9期 平尾 恭一さん提供)



チャレンジコミュニティ通信 vol.46 2021年8月20日発行

発行者 チャレンジコミュニティ・クラブ

事務局 明治学院大学 総合企画室社会連携課

(株式会社明治学院サービス)

〒108-0071 東京都港区白金台1-2-37

Tel.03-5421-1555 Fax.03-5421-1556

Email ccclub@meijigakuin-s.co.jp

http://www.minato-ccc.jp

会報部会

部 会 長 瀬能 正実(10期)

副 部 会 長 境 静子(10期)

副 部 会 長 中満 美紀(11期)

部 員 古橋 義弘(1期)

部 員 榎本 和夫(7期)

部 員 太田 則義(7期)

部 員 佐藤 芳男(11期)

部 員 鈴木 興雄(11期)

部 員 岩出 好枝(12期)